

施設園芸等燃料価格高騰対策では、対象燃料別に毎月の全国平均販売価格を指標価格とし、発動基準価格を超えた場合、その差額を補填金単価として補填金を交付しています。指標価格の出典及び考え方は以下のとおりです。

A重油：農業物価統計調査（農林水産省）、灯油：A重油価格×1.06により算出

LPガス：流通段階におけるLPガス価格推移（日本LPガス協会）のうち、卸売価格を用いて、一般的な組成比であるプロパン7割、ブタン3割の按分により算出

L N G：貿易統計輸入金額（貨物代金に仕向け地までの運賃・保険料が含まれた価格）を販売形態である気体へ換算し算出。

ただし、経済産業省の負担軽減支援事業が実施されている月にあっては、下記金額を補填金単価から除している。

①R6年3月使用分（R6年4月検針分）～R6年4月使用分（R6年5月検針分）は15.0円/m³

②R6年5月使用分（R6年6月検針分）は7.5円/m³

③R6年7月～9月使用分（R6年8月～10月検針分）は17.5円/m³

④R6年10月使用分（R6年11月検針分）は10.0円/m³

④R7年1月および2月使用分（R7年2月および3月検針分）は10.0円/m³

⑤R7年3月使用分（R7年4月検針分）は5.0円/m³